

ニットアパレル I

ニットの基礎知識

繊維産業構造改善事業協会

序

繊維産業構造改善事業協会は昭和54年から繊維ファッション産業の人材育成事業の一環として同産業に関する教材（テキスト等）の開発整備をすすめています。

産業教材の体系はアパレルシリーズ、テキスタイルシリーズ、リテールシリーズの3つの分野で構成され、それぞれの分野の各業務について解説しています。

このテキストはアパレルシリーズの中の一つで「ニットアパレルⅠ／基礎知識」と「ニットアパレルⅡ／商品企画と販売促進」です。ほかに「ニットアパレルⅢ／工場生産と製作技術」を予定しており現在編集中です。

現代の繊維ファッションの中でニットアパレルは重要な位置を占めています。我が国のニットアパレルが世界の中でも高水準に達していることも申すまでもありません。繊維ファッションを志す若い人々にもニットアパレルに関心がある方々も少なくありません。同産業はいま、大変に厳しい状況下にあります。未来は決して暗いものではありません。未来を担う若者に期待も大きいわけですが、そのためにもニットファッションや同ビジネスについてしっかりした教育（人材育成）が必要なわけですが、このテキストはそのための一助として開発いたしました。産業並びに学校においてご活用いただくことを願っております。

本テキストの編集にあたっては町筋ゆり氏を中心とするニットアパレル部会の委員諸氏に多大なご盡力をいただきました。産業各方面のご協力も多く賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

平成7年3月

繊維産業構造改善事業協会

「ニットアパレル」テキストの企画

1. 企画趣旨

ニットアパレル産業について学ぼうとしている方々のための産業教育テキストです。

ニットアパレルは広くアパレル製品の中でも企画生産等のプロセス、産業構造等において、いわゆる織物製品とは異なった動きがありますのでアパレル教材シリーズにおいても個別体系として位置づけます。

しかし、商品企画、デザイン設計、生産販売等の業務について共通する部分も多くありますので、アパレルシリーズの各テーマのテキストも併せて参考にしていただければより有効です。

2. 想定対象

ニットアパレル企業（メーカー、工場等）及び関連企業（繊維メーカー、商社、ソフトハウス）小売企業等の新入社員、中堅社員、専門学校等の先生及び学生、その他研究者などニットアパレル産業にかかわる全ての方々を対象としています。

3. 企画内容

ニット製品の世界はいわゆる横編、丸編、経編、くつ下等広範囲ですが、この「ニットアパレル」で取り上げるのは主として横編製品に関してです。同製品については相当につっこんだ内容とすることとし、テキストは次の3部作で構成しています。

☆ニットアパレルⅠ	基礎知識
☆ニットアパレルⅡ	商品企画と販売促進
☆ニットアパレルⅢ	工場生産と製作技術

なお、ニットファブリックについては別のテキストシリーズで取扱います。

4. 企画・編集 人材育成専門調査委員会ニットアパレル部会

町筋 ゆり	アトリエ・デュオ(株)	照田 収 三	テルタ(株)
小野田 明 美	アトリエ・デュオ(株)	桜木 清 史	(株)島精機製作所
小代田 寛 之	日本ニット工業組合連合会	林田 隆 夫	テキスタイルコンサルタント
樋田 佳 枝	パターンメーカー	夏原 進	沢村(株)
佐藤 千恵子	コーディネーター	柳井 芳 明	(株)ワールド
小山田 道 弥	(株)ファッション総研	長田 博	三協衣料(有)
村井 中	東京都立繊維工業試験場	高澤 みち子	ファッションプランナー
伊藤 利 樹	(株)レナウン	内藤 英 雄	繊維ファッション情報センター

5. ご協力頂いた企業・団体

日本ニット工業組合連合会	(株)黒沼染工場
IWS 国際羊毛事務局	千本松毛晒工業(株)山梨工場
(株)島精機製作所	(株)タリアット
関東染工(株)甲府工場	YKK (株)

6. その他ご協力頂いた方々

伊藤 英三郎	梅 沢 美智恵
佃 英 子	

ニットアパレル I

—ニットの基礎知識—

—目次—

はじめに

第一部 ニットアパレル産業の輪郭	9
第1章 ニットアパレルの産業小史	11
1 古代・中世のニット	11
(1)織物から分岐 (2)アラビアからスペインへ (3)伊、仏、英への伝播 (4)王侯貴族から庶民へ	
(5)セーターとバイキング	
2 ニット工業の基礎	13
(1)ギルドから工業生産へ (2)急激な発展期	
3 日本のニット産業史	15
(1)南蛮渡来のニット (2)水戸光圀の靴下 (3)女皇弥寿から莫大小へ (4)工場生産の始祖、西村勝三	
(5)動力運転の成功 (6)初期は軍需中心 (7)第1次産業革命から第2次産業革命へ	
4 ニット産業の現代史	19
(1)60～70年代の第2次産業革命 (2)ファッション産業革命 (3)80年代のニットアパレル産業	
第2章 ニットアパレルの産業構造	23
1 卸商と製造企業の二重構造	23
2 ニットアパレル卸商のタイプ	24
3 ニットアパレル製造企業のタイプ	25
4 ニットアパレル産地の構造	26
第3章 日本のニットアパレル産業の流通構造	28
1 ニットアパレルの流通経路	28
2 主流以外の流通経路	30
(1)産地卸商・産元商社 (2)商社製品部 (3)アパレル二次卸商(地方卸商) (4)代理店・販社	
(5)金融卸商・ブローカー (6)仲問卸(仲問取引)	
3 海外商品の流通経路	32
(1)輸入商社と商社輸入部門 (2)輸入品卸商 (3)アパレル卸商 (4)アパレル小売企業	
4 小売企業との取引形態	33
(1)掛け率取引(参考上代・掛け率制) (2)テリトリー制 (3)返品・商品交換制 (4)派遣販売員制	
(5)委託契約取引と消化取引 (6)多ブランド制	
5 流通構造に変化の兆し	35

第二部 ニットアパレル製品	39
第1章 ニットの概要	41
1 ニットとは	41
2 ニットの特性と品種	41
(1)ニットの特性 (2)ニットの品種	
3 ニットアパレルの範囲	43
4 ニットアパレルの新潮流	44
5 ニットの種類	45
1 緯編と経編	
2 編地の形態	
3 ニット商品製作のカテゴリー	
(1)ファッション商品 (2)カット・アンド・ソーン商品 (3)カット・アンド・リンキング商品	
第2章 ニットアパレルのアイテムとスタイル	49
1 ニットアパレルのアイテムとスタイル	49
1 セーターの種類	
2 ジャケットの種類	
3 ニットシャツ・ブラウスの種類	
4 ニットスーツ・ワンピースの種類	
5 ニットボトムの種類	
2 ニットアパレルのディテール・デザイン	68
第3章 ニットに使われる素材	78
1 繊維素材	78
1 繊維素材の概要と特性	
(1)天然繊維 (2)再生繊維・半合成繊維 (3)合成繊維	
2 各種繊維の特徴とニット分野での用途	
2 糸素材	87
1 紡績糸 (スパン糸)	
(1)綿糸 (2)毛糸 (3)麻糸 (4)絹紡糸 (5)化合繊維紡績糸	
2 フィラメント糸 (長繊維糸)	
(1)絹糸 (2)化合繊維フィラメント糸	
3 加工糸	
(1)テクスチャード加工糸 (2)混紡糸・混織糸・複合糸 (3)意匠糸 (ファンシーヤーン) (4)特殊糸	
3 糸の太さと撚り	91
(1)糸の太さ (2)糸の撚り	
4 素材の加工	95
(1)紡糸・紡績段階における加工 (2)糸に対する加工 (3)編地に対する加工	
第4章 ニットの編成と編地	97
1 ニットの分類	97
2 編機とその編成原理	98
1 編機の種類と特徴	

2	ニットの編成原理	
	(1)緯編の編み方 (2)経編の編み方 (3)各種編機の編み方 (横編機・丸編機・経編機)	
3	編機のゲージ	
3	編組織と編地	111
1	針配列のバリエーション	
	(1)緯編の針配列と基本組織 (2)経編の針配列と基本組織	
2	編目のバリエーション	
3	主な編組織と編地 (横編57例、丸編15例、経編10例)	
4	編地の特性	147
1	編地の性状	
	(1)編地の方向 (2)編地の寸法、密度、目付	
2	編地の特徴	
	(1)変形しやすい (2)多孔で空隙が多い (3)カール、耳まくれ (4)斜行、ねじれ	
	(5)ランを起こす、ほつれやすい (6)ピリング、スナッキングが起こりやすい	
	(7)しわになりにくい、プリーツが付けにくい	
3	編地の検査	
第5章	ニットの染色加工	152
1	染色加工工程	152
1	染色準備	
2	染色	
	(1)浸染 (糸染め、布染め、製品染め) (2)連続染色 (3)捺染 (4)その他	
3	整理、仕上げ	
4	特殊加工	
	(1)外観変化を与える加工 (2)風合い変化を与える加工 (3)特殊な性能を与える加工	
2	染色加工時のチェックポイント	161
1	染色加工上の欠点	
2	染色堅ろう度	
3	形態安定性	
第6章	ニットの縫製と仕上げ	163
1	ミシン縫製とリンクング	163
1	縫目の形式	
2	各種縫い方	
3	ニット用ミシンの種類と使用例	
4	ミシン針とミシン糸	
2	付属編とリンクング	172
1	リンクング手法	
2	付属編とその本体への付け方	
	(ネックライン、カラー、カフス・ポケット・飾りパーツ・スリット・配色入りパーツ・共糸ベルト)	
3	部分縫いのポイント	188
	(49例)	

4	副資材とその扱い方	199
1	芯地、テープ、肩パッド等の補整材	
	(1)芯地 (2)ブレード・テープ (3)インサイドベルト (4)肩パッド	
2	裏地	
	(1)裏地の目的 (2)裏地の素材と特性 (3)裏地の組織と名称 (4)裏地の扱い方(つけ方16例)	
3	ボタン、ファスナー等の留具	
	(1)ボタン (2)ファスナー (3)ホック類 (4)スナップ (5)マジックテープ	
4	スパングル、ビーズ等の装飾品	
	(1)スパングル、ビーズ、模造真珠 (2)アップリケ、ワッペン	
5	ネーム、ラベル、下げ札	
5	ニットの仕上げ	236
1	仕上げ機と各種仕上げ法	
2	仕上げ上の注意	
6	ニットアパレルの検査基準	237
1	検査項目	
2	染色堅牢度と収縮率	
3	IWS 検査基準	
4	最終商品の検査	
第7章	ニットアパレルの消費科学	242
1	ニットアパレルの品質	242
2	ニットアパレルの取扱いとクレーム	243
1	ニットアパレルにとってのマイナス要因と取扱いの留意点	
2	ニットアパレルのクレーム	
3	ニットアパレルの表示	243
1	品質表示	
	(1)組成表示 (2)取扱い絵表示 (3)原産国表示 (4)品質マーク (5)デメリット表示	
2	サイズ表示	
	(1)JIS サイズ規格の各品目 (2)フィット性について (3)体型区分及び身長区分	
	(4)服種別サイズの種類と呼び方	